



## スケート部 スキー競技 全国大会へ

スケート部と総合運動部のスキー競技で全国大会に出場する選手達の壮行会が1月29日(水)に行われました。スケート部は1年生の2人が出場しました。スキー競技は3年生が出場しました。悔いの残らないレースしてきてほしいと全校で応援をしました。スケートはまだ1年生なので、結果にこだわりながらも、全国大会の雰囲気をつかむことも大切でしょう。

スキーは3年生なのでこれまでの3年間の努力をぶつけてきたようです。全国大会で活躍する小海中の生徒3名。健闘をしてきました。

### 生徒会長から激励の言葉

スケート部、スキー競技のみなさん全中への出場おめでとうございます。

皆さんは大会に向けて寒い中様々な練習をしてきたと思います。この冬の大会は皆さんの努力が存分に発揮される場です。新たな記録を出すためにはまず、自分自身に打ち勝つことが大切になってくると思います。しかし大会中には思いもよらぬトラブルが起きるかもしれません。そんな時は一人ではなく仲間や先生の支えを思い出して乗り越えてください。そしてどんな結果になろうとも、そこまで努力した経験をこれからの生活に活かし、新たな目標に突き進んでください。

また全中の会場では場の雰囲気にもまれることがあると思います。また失敗したらどうしようなど様々な不安な気持ちが湧き出てくるかもしれません。しかし野球選手のイチローさんはこんな言葉を残しています。「壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。」です。みなさんはどんな困難もチャンスだと思い、今までの練習の成果を存分に発揮できるように頑張ってください。



壮行会の様子 学校長から



第63回長野県中学校総合体育大会冬季大会スキー競技会 野沢温泉南原クロスカントリーコース  
クラシカル5km 1月17日(金) 記録18'20" 2 順位 10位  
フリー5km 1月18日(土) 記録15'03" 2 順位 9位

どちらの種目も全国大会出場権獲得

(スケートの長野県大会の結果は前号に掲載済み)

また、大会前の1月30日(木)には小海町長 黒澤弘様、北相木村長 井出利秋様、南相木村長 中島則保様から全国大会に出場する選手3名に記念品とともに激励の言葉をかけていただきました。選手は「町長さんや村長さんの前で緊張したけどうれしかった。全中でも頑張らなければと思いました！」と十分に気合いが入ったようでした。スケートは2月1日(土)から2月4日(火)までエムウェーブで、スキーは2月4日(火)から2月7日(金)まで野沢温泉スキー場で全国大会が行われました。結果は下記の通りです。



スケート大会出場者へ激励のメッセージ



スキー大会出場者へ激励のメッセージ

## スケート部 長野県中学校体育大会(県中)以降の大会結果

◆第63回軽井沢スケート競技会 中学生の部 1月18日・19日 軽井沢風越公園スケートリンク

男子1000m	記録 1' 36" 04	順位 16位
男子1500m	記録 2' 28" 64	順位 16位
女子500m	記録 52" 20	順位 16位
女子1000m	記録 1' 57" 59	順位 12位

## スケート・スキー 全国大会の結果

◆第45回全国中学校スケート大会 2月1日(土)～4日(火) エムウェーブ

女子500m	記録 50" 05	順位 57位
女子1000m	記録 1' 50" 19	順位 80位
男子1000m	記録 1' 52" 21	順位 118位
男子1500m	記録 2' 17" 92	順位 43位

◆第62回全国中学校スキー大会 クロスカントリー 2月4日(火)～7日(金) 野沢温泉スキー場

クラシカル5km	記録 16' 47" 4	順位 22位
フリー 5km	記録 14' 50" 8	順位 8位 入賞

## 入試に向けて頑張れ3年生！地域の方も応援して下さっています

地域の事業所の方から「勝ちグミ」というグミが3年生全員に送られました。そこには(写真ではよく分かりませんが)「強く願えば、夢は叶う！夢に向かって頑張ろう！」というメッセージが書かれていました。私立高校などの入試が始まっています。3年生は本番に向けて、勉強や面接の練習などできる限りの努力をしています。良い結果が出るように心から期待しています。地域の皆さんも応援して下さい。頑張れ3年生！！



## 問いのある授業に向けて

1月31日(金)に長野県教育委員会東信教育事務所から清水和指導主事に来ていただいて数学の授業を指導していただきました。図形分野の授業で比較的難易度の高い単元の授業でしたが、クラスの生徒はとても意欲的に取り組んでいました。数学科に対しては、「何を大切にするのか、視点を大切にして、狙いとまとめや振り返りをおろそかにしないように」とご指導をいただきました。また、「生徒達がとても素晴らしい。これからもあの姿を大切に」と褒めていただいてお帰りになりました。



## 日本教育公務員弘済会からボランティア活動助成金をいただきました

毎週水曜日のアルミ缶回収や社会福祉施設への訪問、保育園への訪問など生徒のボランティア活動が日本教育公務員弘済会から評価されて助成金をいただきました。地道な活動が評価されるとうれしいものです。これからも継続できればと思います。いただいた助成金は、探究活動などに活用したいと考えています。



目録授与の様子

## いのちの学習

2月3日(月)にはりんごっこ保健室キャラバン隊の吉田アイ子先生、柳澤祐子先生にご来校いただいて、3年生対象に「いのちの学習」をしていただきました。



1時間の授業で3年生達は大切なことを学ぶ事ができました。「長くつき合っているような親しい仲でもお互いを尊重することが大切。相手の気持ちになることが大切。相手との関係を常に考える。そうすればDVなどは起こらないはず。あくまでも対等な関係性を大切にする。こと。」と内容の濃い1時間を過ごすことができました。生徒は「仲が良くても、相手の気持ちになることが大切だとよくわかった。親しき仲にも礼儀あり。今の自分の友人関係を見直そうと思いました。」と感想に書いていました。

2月14日(金)にはりんごっこ保健室キャラバン隊の小林美穂子先生、森沢繁子先生にご来校いただいて、2年生を対象に「いのちの学習」をしていただきました。2年生は2時間目と3時間目に授業を行いました。昨年も2年生は2時間の「いのちの学習」を行いましたが、2年生で学ぶ内容は体の成長に関わる内容も含まれていて、より内容の濃い授業となっていました。

「ホルモンの分泌量の変化が体の変化の要因になる。男子は1日に約7千万個の精子が作られ、女子は1ヶ月に1個の卵子が作られる。中学2年生では夢精なども起こるが、セルフプレジャーがとても大切。日本ではあまりこの内容は丁寧に教えてもらえない。大切なことを知らずに大人になってしまっている。女性は卵子が9日間くらいかけて成熟してくる。この卵子と、男子の精子が出会っていのちが誕生する。射精と排卵。どちらもとても大切なこと。」ととても大切なことを教えていただきました。



また、どんなときに抱きしめてもらったり、手をつないでほしいと思うかというアンケートでは、寂しいとき、嬉しいとき、悲しいときという回答が多かったです。そして、そのようなときに抱きしめてもらったり、手をつないだりしてもらえると、安心する、元気が出る、うれしくなるという回答が多かったです。皮膚は記憶する袋とされているそうです。母親のおなかの中にいた記憶が潜在的にあって、ふれあいの時間が安心する要因になっているようです。しかし、場合によってはふれあいがマイナスになることもあります。大切なのはきちんと相手に同意をとっているかです。これから先、「好きな人とふれあいたい」さらには性交したいと思うときが来るかも知れませんが、そんなときはお互いの気持ちを確かめ合う事が大切で、相手が嫌と言えれば絶対にしない。そんなコミュニケーションが大切であると締めくくり授業が終わりました。とても貴重な2時間の授業となりました。(1年生のいのちの授業は3月6日に行います)

## 今年度最後の授業参観がありました

雪の降る悪天候な午後となりましたが、2月17日(月)には今年度最後の授業参観・学校長の話・学年学級PTAがありました。3年生は、9年間美味しくいただいてきた給食を振り返りながらの食育の授業やギターを上手に弾くことができるように練習する授業をしていました。また、2年生は、英語も国語も、全体の前で自分の考えや、物語の要点を発表する授業でした。表情に変化をつけたり、声に抑揚をつけたり、身振り手振りで表現したりと、1年間でアウトプットする力がかなりついてきていると実感しました。1年生は、学年レクで保護者も入ってソフトバレーを行いました。勝負にこだわっているのはどちらかということ大人の方ではないかと思うくらい白熱していました。続いて校長の話があり、次年度にむけての小海中学校の方向性が示されました。部活動の今後についても説明がありました。最後に学年学級PTAがあり、部活動運営委員会や1学年はPTA役員に欠員が出たためその補充の会議、子育て委員会などが行われ1日が終わりました。帰宅する頃には周囲の景色は雪で白一色になっていました。足下の悪い中、今年度最後の参観日にご出席いただき誠にありがとうございました。また今後ともよろしく願いいたします。

